

市政ニュース

昭和48年4月1日

301号

一部4円

発行所 五所川原市役所



そろそろ忙しくなったね
そうさ

蒔かぬ種は生えぬというからな
もたもたしておれなくなつたよ
これは塩水選かね

立派な強い苗を育てるためには
先ずいい種もみを選ばなくっちゃ

品種はなんだね

量よりも質の世の中だ

今年は思いきって変えたよ

天候がよければいいね

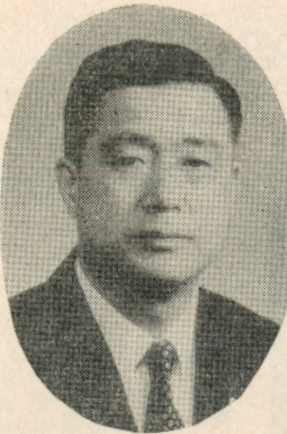
なにしろ

百姓にとって天候が第一だからな

そうあってほしいものだと思つてるよ

生きがいがある 人間優先のまちへ

佐々木市長 市政所信を表明



五所川原市長
佐々木栄造

人間優先の大
五所川原市を
建設するため
満身の努力を
つくす覚悟で
ございます。

このたびの
選挙にあたり
四つの大綱を

公約いたしました。終局の
目的は、人間優先にあるの
であり、生きがいと働きが
いのあるまちを造ることに
よって、その波及効果とし
ての経済の繁栄を考えてい
るのであります。田中総理
の日本列島改造論は、人口
と産業の過疎と過密を解消
し、どこに住んでも職業
の選択が自由にできる地
域社会を造ることにその理
想を置いており、この考え
方は正しいものと理解して
おります。国民の誰しもが
この考え方には原則として
賛成であろうと思いますが
問題はその手段にあると存
じます。

明治百年、わが国はアジ
アのなかでただひとつ先進
国に仲間入りができる国に
急速な発展をとげることが
できました。しかも、大平
洋戦争によって持てる経済
力の総べてを失い、その灰
じんのなかから立ちあがり

四十八年 第一回定例会から

こんにちは、激動する日本

列島改造において、わが五
所川原はいま大発展を目ざ
す絶好の機会を迎えており
ます。ここ、数年における
社会経済の変動があまりに
も大きいため、ともすれば
方向を見失いがちでありま
した。すなわち、先進地域
への産業と人口の集中と重
化学コンビナートの新規立
地、農業からの若年労働力
の流出、出かせぎの増加、
モーターゼーションに対応
した道路投資の巨大化など
きびしい現実への直面がそ

れであります。

われわれは、ことの次第
をなすりゆきにゆだね、困難
が生じた際に事後的に対策
を講ずるのではなく、地域
経済社会の発展のゆくえを
見究め、それに適応しつづ
望ましい社会を実現するた
めの努力を積み重ねて行か
なければなりません。私は
これまでの十年有るの経験
のもとで初心に立ち返り、
その間における地域変容の
実体を解明し、当面する地
域問題を位置づけながら、
美しい自然環境を保護し、

諸外国の技術をわが国独
自の方法によって消化し、
勤勉な国民性は経済的な合
理性をふまえて西欧諸国を
追い越す経済力を持つよう
になったのであります。五
所川原市民には、こうした
日本国民を代表するような
開拓者の血が流れておりま
す。三百余年前、カヤぼう
ぼうの湿地帯に水を制し、
新田をきり拓き、地の利を
生かして商いを起こし、
いくたの災禍の試練に耐え
常に地域の産業、教育、
文化の主導につとめ町制か
ら市制へのステップをふん
でこんにちに至った、た
くましい開拓精神、五所川
原根性がそれでありませ
う。いま日本は、都市集中の
流れを大胆に転換し、民
族の活力と高度成長経済の
たくましい余力を日本列島
の全域に向けて展開し、都
市と農村、表日本と裏日本
の格差をなくそうとしてお
りこれはまた、わが市にも
大きな飛躍を必要としてい
るのであります。いまこそ
新しい時代の要請に応え大
胆に未来を先取りする津軽
の青年都市を創造しなけれ
ばなりません。

四十八年度 百八十七万円が目標

昭和四十八年度の日本赤十字社員増強運動は、三月二十二日から始まっており、四十八年度の市の赤十字社資目標額は、四十七年度より十九万七千円多い百八十七万三千六十円（対象一万一千八百世帯）ですが、赤十字の人道主義精神を理解され、協力してくれるようお願いします。

昭和四十八年度赤十字社資目標額（単位円）

◇五所川原 九七三、五九〇

◇七和 一三三、〇八〇

◇長橋 一一七、六四〇

◇梅沢 五六、七八〇

計 一、八七三、〇六〇

毘沙門分会

▽街頭募金協力団体（一五団体）

市赤十字奉仕団五所川原

分団、同栄分団、同梅沢分

団、三好分団、松島分団、

長富分団、毘沙門分団、

小曲分団、中川分団、長橋分

団、飯詰分団、市更正保護

婦人会、市民生児童委員連

絡協議会、市社会福祉協議

会、市手をつなぐ親の会

▽共同募金協力者（一〇人）

山川定助（新宮町） 仙庭

清太郎（戸沢） 木村与五郎

（高瀬） 笠井長四郎（桜田

） 太田藤太郎（毘沙門） 新

谷恭一（太刀打） 小野末吉

（姥瀬） 佐々木甚三郎（下

岩崎） 伊藤健四郎（原子）

佐藤桃太郎（梅田）

なお、募金の大口協力者

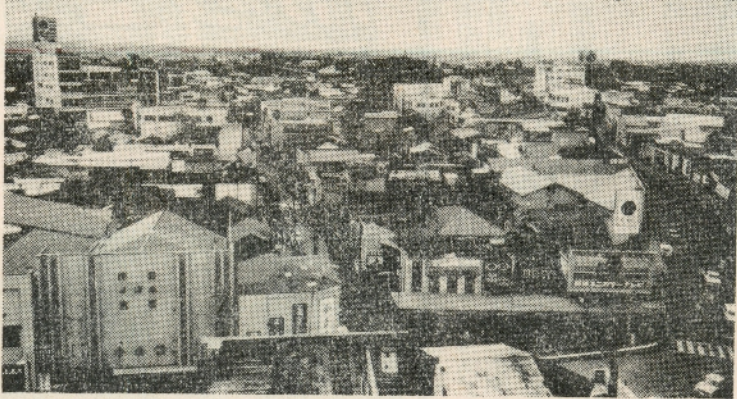
として川端町、鶴谷幸次郎

さんほか百十七人が表彰さ

れました。（敬称略）

生活環境パトロール
本部
注みよ、
環境づくりに
でんわ⑤一四一四

駐車場の設置が先決



駅前大町ロータリー付近から中心街を望む

市広 商業診断から

△勧告 その4▽

来街するものは一六・九割（平日は七・一割）に達しており、「駐車場が欲しい」とする顧客も五〇割と高率である。△駅前未整備▽現在の駅前広場は狭く、五所川原のいわゆる「顔々」としての機能を果たしていない。これに連けいする旭町、大町、東町の商店も一階建てで店舗の老朽したものも多く、顧客を吸引できる駅前のはなやかさは不十分である。

△飲食街のまとまりがない▽現在の飲食店街は東町、大町二丁目裏、市庁舎前などに分布しているが、そのいずれも大きな集積となっていない。飲食店街の発展は全く自然にまかせられたことにより、魅力のある飲食店街のまとまりに欠けるといえる。

△大型車両の交通が激しい▽駅前とはまかく、国道一〇一号線にそった本町、新町の商店街では、大型車両の交通量の増加がとくに問題である。片側商店街で歩行に危険を感じる商店街では顧客を吸引できない。

△路線型商店街▽市の商店街は、いずれも自然発生的なもので、いわゆる拠点地区としての買回性の性格をもった街区はいまのところ見あたらない。この傾向は、各商店街の延長が長すぎることによって助長されている。（大町商店街四五〇軒、本町三一〇軒）

△大型店が核になっている▽これは、現在の顧客がワンストップショッピングあるいはトータルショッピングを希望していることから明白である。KOL対象、買物実態調査々によるとデパートでの買物が三八・三割と集中している。

△用水堰の統合▽現在、市内の街区には縦横に用水堰が走っており、商店の拡張や顧客の来街に支障をきたしている。

以上のほかに
市内のデパートは強力であるが専門店が弱い。商品構成が農村で、しかも中年向けでますますヤング顧客が流出することになる。中心街区の買回集積が少なく、立地の優利性を生かしきれない。屋型の飲食が不足している。商店街の面的発展のためには、単に小売商店が集積するだけでは不足で、小売店プラス飲食店の充実が必要である。

現地診断と諸調査の結果とらえた主な問題点は
△駐車場の不足▽街づくりのためのアンケートによると、日曜日に自家用車で

注射と登録月日	地区名	注射と登録場所	注射と登録時間	
4月16日	元和町、田町、栄町、平和町	平和町集会所前	10.00~10.50	
	布屋町、弥生町、鎌谷町、烏森、田園調布寺町、岩木町、本町、川端町、柳町、新町、成田町	西北教育事務所前 三道会館前	11.00~12.00 13.00~15.30	
4月17日	下平井町、きつき町、敷島町、東雲町、雛田、東町、旭町、大町、錦町、幾島町、柏原町、上平井町、平井町、新宮町	老人ホーム前 敷島分院前 消防署前 保健所前	10.00~10.50 11.00~12.00 13.00~14.00 14.10~15.30	
	4月18日	湊団地、湊谷、猫姥、稲実、七ツ	湊団地集会所前 坂本甚作宅前 猫姥屯所前 姥滝神社前 稲実屯所前 広田農協前 七ツ館工藤トコヤ前	10.00~10.30 10.40~11.00 11.10~11.30 11.50~12.10 13.10~13.30 13.40~14.10 14.20~14.50
4月19日	浅福野里、杉山	井山成立	一戸商店前 福山集会所前 石岡源造宅前 前田商店前 松野商店前	10.00~10.30 10.50~11.50 12.50~13.10 13.30~14.10 14.30~15.00
4月20日	福松野、若石戸朝日、興隆	岡木山坂沢集会所前	三上商店前 石岡治男宅前 集会所前 集会所前	10.00~10.30 10.40~11.00 11.20~11.30 11.50~12.00 13.00~13.20 13.40~14.10

春季狂犬病予防注射と登録

愛犬家の皆さん、狂犬病の予防注射と登録の季節になりました。最近、犬の放し飼いが非常に多くなり、五所川原保健所でも放し飼いられている犬の捕獲につとめておりますが、なんといつても皆さんの協力が必要です。飼い犬の登録は年に1回、狂犬病予防注射は2回必要です。市では、次の日程で昭和48年度の春季の狂犬病予防注射と登録をおこないますので、必ず受けるようにしてください。(狂犬病予防注射を受けず登録をしない飼い主に対して3万円以下の罰金が課せられます)

▽登録料金 1匹 300円
▽注射料金 1匹 360円

(ただし、日程以外のときは登録300円と予防注射600円になります)
20日以降の日程は4月15日付け「市政ニュース」に掲載します。

「青り三号」 無袋でも着色よい

市では、消費者の好みにあった高級品種の栽培をすすめるため「ワイセイ化栽培」の普及など、これからのりんご経営について指標をまとめましたが、市の奨励品種のなかの「祝(東光不明)」「ネロ26号」「N18号」「青り2号」「青り3号」の品種の特性は下表のとおりです。それぞれ品種の特性をよく検討して、労力の均等配分ができるよう栽培面積を構成してください。

品種名	東光不明	ネロ26号	N18号	青り2号	青り3号
区分	東光×リチャード	45×リチャード×リシャス	45×リチャード	ゴールデンデリシャス×不明	東光×リチャード×リシャス
両親名					
収穫期	8月中~下旬	9月中~下旬	9月中~下旬	9月中~下旬	10月下旬~11月上旬
とりあげのねらい	祝と同じ	祝とレッドのつなぎ用である	ネロと同じ	祝とレッドゴールドの間をつなぐ品種	スターのつなぎとして変り得る
無袋の可否		無袋で着色がよい	無袋でもよい	無袋にすると商品性がおちる	無袋でも着色がよい
長所	濃紅色 多汁甘味あり	結果年齢が早く豊産である	多汁甘味あり	豊産である 食味が優れている	豊産性である 食味が優れている
短所	貯蔵力に弱い	収穫前落果がある 貯蔵力が弱い	貯蔵力に弱い	着色がおとる サビ果が出やすい	無袋の場合つるわれ 収穫前落果が少しある

四月二十日まで

休耕田 復元申請を受付

市農林課では、昭和四十八年度の米生産調整で、生産調整(減反)などの実施計画書の提出を受け付けております。

▽生産調整と稲作転換実施計画書の提出期間 三月二十日~四月二十日

▽事前売渡限度数量の申込期間 四月一日~四月三十日

▽稲作付(復元)申請書の提出期間 三月二十日~四月二十日 となっております

ますが、昨年に引き続き同一水田を休耕、転作する場合でも申告しないと奨励補助金の対象になりませんので、必ず申告してください

市の四十八年度の米生産調整では「生産調整の目標指示数量」は、昨年のように個人別に指示しないで、減反する農家の希望をとりまとめ、これを目標数量に定める自主生産調整とする「事前売渡申込限度数量」は、農家の希望によって、

その希望数量を売渡申込限度数量に定める、昨年単休耕を実施した農家が四十八年に稲を作付するため単休耕田を復元した農家に

は復元費として十アール당り二千元の奨励補助金(県費補助)を支給する、などの基本方針を決めております。



⑤四三二一

市政ダイヤル

その日の
行事や予定は

慣れた火に

新たな注意を

春季火災予防運動

四月二日~四月三十日

おしらせ



「青少年海外派」 「遣生を募集」

市立「国連青少年の家」では、昭和四十八年度の青少年海外派遣生を次の要領で募集しています。

- ▽応募資格
一、日本人の国籍を有する方、二、満十八歳〜三十歳まで、三、簡単な日常会話のほか外国語ができる方
- ▽行先
世界各国のうち一カ国
- ▽派遣期間
約一カ月
- ▽経費
約三十万円
- ▽申込締切
昭和四十八年四月十日まで

なお、日程など詳しくは国連青少年の家、電話④三四九四番にお問いあわせください。

看護職員募集

- ▽募集人員 若干名
- ▽資格 看護婦、助産婦、准看護婦、看護助手
- ▽待遇 市職員の給与と条例による
- ▽応募方法 履歴書二部（写真添付）、免許証（写）二部を郵送、または持参のこと。面接の日は追って通知します。

五所川原市立西北中央病院管理課（郵便番号〇三七五）所川原市宇布屋町四一（番地）

「老人医療費が」 「完全無料化」

「老人福祉法」による七十歳以上の老人医療費は、四月一日から所得制限に関係なく無料になります。

これまでは、本人の年間所得が三十八万円以下でも

ること、などの所得制限がありました。が、支給の対象にならなかつたおとしより

でも引き続き市内に一年以上往んでいる場合は市費負担で無料になります。

したがって、これまで所得制限で医療費を受けられなかった満七十歳以上の方は市健康年金課で市の「老人医療費受給者証」の交付申請の手続きをしてください。

「執務時間四時」 「四十五分まで」

四月一日から、市の執務時間が次のとおり変更になります。

- ▽月曜日〜金曜日 午前八時三十分から午後四時四十五分まで（昼の休憩時間は午後零時〜午後零時四十五分まで）
- ▽土曜日 午前八時三十分〜午後零時十五分まで

「鶴寿橋三トーン」 「以上通行止め」

一般県道、山田〜鶴田線の鶴寿橋（鶴田町）は、四十七年七月の豪雨で橋脚の一部が沈下し、危険な状態であるため現在三トーン以上の車両の通行を禁止しております。

鶴寿橋の架替工事は、昭和五十年度に完成の予定です。

「六日から春の」 「交通安全運動」

ことしも春の全国交通安全運動が四月六日（金）〜四月十五日（日）までの十日間、全国いっせいに実施されます。

市でも、「県民交通安全の日」「交通事故死三割減少」運動をふまえて統一行事を実施します。

市民みんなが良識ある交通社会人として、歩行者も運転者も、幼児も老人も正しい交通ルールを守る市民ぐるみの運動こそが事故防止の成果につながります。

ぜひ家族全員が夕食時に交通安全の対話をし、毎月十日、二十日、三十日のゼロのつく日は、「県民交通安全の日」としてこの運動の成果をあげるようご協力をお願いします。

「環境緑化まつり」 「花と緑の市」

- ▽とき
四月十八日（水）〜四月二十二日（日）の五日間
- 四月十八日午前十時、開会式、四月十九日からは午前八時半〜午後五時まで
- ▽ところ
市庁舎前お祭り広場
- ▽催しもの
一、庭園樹などの展示即

ちの手により改良が続けられた末、現在のように世界中に知られたる名花となりました。

「スイートピー」 「スイートピー」

花を讀んでいるのがいろいろみられることから、この花の人氣が何われます。この花は、五所川原市内の花屋さんでもみられます

売会 盆栽、鉢花類、一般家庭樹、園芸用品
二、学校校庭樹贈呈と植樹指導 贈呈対象 市内各学校 植樹指導 一般市民
三、苗木の無償交付
対象者 一般市民（先着順ひとり一本、一日二千本）
樹種 くらまつ。

四、つぎ木技術などの講習会 四月二十一日午後一時から、市民文化会館、対象者 一般市民、講習内容 つぎ木技術、盆栽、庭園樹手入れ法、その他 受講無料

「ビニールハウス」 「に補助」

市では、四十八年度の施設園芸促進対策事業で、農家がビニールハウスを設置した場合補助することになり、補助金の交付申請を四月二十日まで受け付けします。

これは、融雪期の野菜の供給と西洋野菜などの促成栽培をすすめるためで、ビニールハウスを三十三平方メートル以上設置した場合、ビニールハウスの本体と付属器具を含めて設置に要した経費に対し二万円を限度に、経費の四分の一か五千円のいずれか低い額で補助します。詳しくは、市農林課農政係におたずねください。

ので目にしている方も多いためです。

この花と同属で、野生のスイートピーともいうことのできる花が津軽フラワーセンターに自生しています。その名は、ヒメレンリソウ（姫連理草）です。花咲く六月にたずねてください。自然のすばらしさを無言でわからせてくれる野の花です。

「心の花だより」

スイートピーは一、七〇〇年代にイタリアの植物研究家でカトリックの僧侶であるフランチェスコ・クパニにより、シシリー島で発見されました。このときのもものは、花型も小さく花色の変化もなくごくつましい野草でしたが、その後イギリスに渡り、愛草家た